

松江市ふるさと奨学金 令和7年度奨学生募集

募 集
要 項

令和7年4月募集開始

松江市教育委員会では、将来松江市への居住を希望している方を対象に、優れた素質と向学心をもちながら、経済的な理由により修学が困難な学生生徒を支援するため、無利子による奨学金貸付事業を行っています。

この奨学金は、学校卒業後に松江市に居住していただければ、申請に基づいて返還を半額免除することができます。

奨学金の対象となる学校区分等については、別紙「ふるさと奨学金の概要」をご確認ください。

募集概要

採用人数：予算の範囲内で決定します 貸与月額：23,000円～47,000円

出願方法

受付期間：令和7年4月1日（火）～5月30日（金）17時15分まで
提出書類：次の書類を1部提出【郵送可、当日消印有効】

1. 奨学生願書	添付様式第1号を使用	
2. 家計調書	添付様式第2号を使用	
3. 奨学生推薦調書 在学学校種によって様式3か様式4のどちらかを使います	≪高校・高専・専修学校に在学≫ ⇒ 様式第3号を使用 第1学年は出身学校で作成。他の学年は在学学校で作成 ≪大学・短大≫ ⇒ 様式第4号を使用 学年に関わらず出身学校（高校・高専）で作成 (注)各様式の作成については必ず本募集要項に添付されている記入例をご参照のうえ、記入してください。	
4. 在学証明書	在学する学校が発行する証明書	
5. 住民票	本人及び本人と生計を同じくする親族	
6. 令和6年中の収入を証明する書類	【父母等が松江市内に居住】 (令和7年1月1日時点) 添付様式第5号の提出のみ	【父母等が松江市外に居住】(令和7年1月1日時点) ※同居別居に関わらず、生計を同一にする方全員分が必要。 下記のア、イのいずれかを提出 ア 令和6年分の源泉徴収票の原本 イ 令和7年度市民税・県民税申告書及び申告受付書のコピー

※出願に際し連帯保証人が2名必要です。1名は保護者、もう1名は別生計の独立生計を営む成人者の方としてください。また、どちらか1名は松江市内に住所を有する方としてください。

結果通知

奨学生選考委員会を開き、7月中旬頃に出願者全員に採否結果を郵送でお知らせします。

※貸付手続の際は、誓約書兼借用証書・連帯保証人の印鑑証明書等の提出が必要になります。

お問い合わせ／お申し込み

〒690-8540 松江市末次町 86 松江市教育委員会教育総務課 ☎0852-55-5424

松江市ホームページ https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/kyoikuiinkai_kyoikusomuka/kyoikuiinkai/3/725.html でもご案内しています。

	松江市ふるさと奨学金の概要	
出願資格	次の1～5をすべて満たし、かつ、6又は7に該当すること 1. 高等学校、高等専門学校、大学（短大を含む。以下同じ。）、専修学校（高等課程・専門課程）に新入学又は既に在学する人 2. 学校卒業後松江市内に居住する意思を持つ人 3. 市外の学校の場合、父母又はこれに代わる人が松江市に居住していること 市内の学校の場合、本人が松江市内に居住していること 4. 経済的な理由により修学が困難な人 5. 出身学校長又は在学学校長が推薦する人 6. 高等学校、高等専門学校、専修学校にあっては、人物が良好で、勉学意欲を有する人 7. 大学にあっては、人物及び学業成績が良好な人	
貸与額	高等学校	月額 23,000 円
	高等専門学校	月額 24,000 円
	大学（自宅通学）	月額 43,000 円
	大学（自宅外通学）	月額 47,000 円
	専修学校	月額 47,000 円
利 子	無利子	
貸与期間	令和7年4月から在学する学校を卒業するまでの最短修業年限の最終月まで	
貸与方法	年2回に分けて貸与	
返還期間	貸与が終了した月の翌月から数えて13ヶ月を経過した月から、次に定める期間 ※ 定める期間より短期で返還（繰上返還）する場合は返還免除の対象外になります。	
	高等学校・高等専門学校	貸与期間の2倍の期間
	大学・専修学校	貸与期間の3倍の期間
返還方法	年賦・半年賦・月賦均等から選択	
返還免除	奨学金を返還すべき年度の前年度（4月1日～3月31日の期間）に、松江市に居住し続けた場合、その返還すべき年度の返還金を半額免除します。 <u>ただし、以下の1～4のいずれかに該当する人は返還免除の対象になりません。</u> 1. ①奨学生として決定を受けた年度において、在学中の学校に進学する前に通っていた学校を卒業後5年以上経過しており、かつ、②奨学生として決定を受ける前年度まで5年以上継続して松江市内に居住していた人 2. 繰上返還を行った人 3. 返還年度の前年度までの市税を滞納している人 4. 返還すべきふるさと奨学金がある場合で、当該ふるさと奨学金を返還していない場合	
併願併給	「松江市ふるさと奨学金」は、「他の奨学金」と重複して奨学金を受けることができます。 ただし、他の奨学金の中には、重複受給を認めない場合もありますので、ご注意ください。	
休止廃止	奨学生が休学したときは、その期間中奨学金の貸与を休止します。 また、奨学生が次のいずれかに該当するときは、奨学金の貸与を廃止します。 1. 退学したとき 2. 操行不良等奨学生としてふさわしくないと認められるとき 3. 市外の学校の場合、父母又はこれに代わる人が松江市に居住しなくなったとき 市内の学校の場合、本人が松江市内に居住しなくなったとき 4. 奨学金の貸与を辞退したとき 5. 奨学金を必要としないと認められるとき	

【貸与・返還の例】大学4年間の貸与、年賦で返還する場合

年度	備考	貸与／返還額		
令和7年度	大学 1 年	貸与 年額	564,000	貸与総額 2,256,000
令和8年度	大学 2 年		564,000	
令和9年度	大学 3 年		564,000	
令和10年度	大学 4 年		564,000	
令和11年度 ～13カ月経過～				
令和12年度	貸与期間の 3 倍の期間	返還 年額	188,000	返還総額 2,256,000
令和13年度			188,000	
令和14年度			188,000	
令和15年度			188,000	
令和16年度			188,000	
令和17年度			188,000	
令和18年度			188,000	
令和19年度			188,000	
令和20年度			188,000	
令和21年度			188,000	
令和22年度			188,000	
令和23年度			188,000	

【貸与・返還の例】高校3年間の貸与、年賦で返還する場合

年度	備考	貸与／返還額		
令和7年度	高校 1 年	貸与 年額	276,000	貸与総額 828,000
令和8年度	高校 2 年		276,000	
令和9年度	高校 3 年		276,000	
令和10年度 ～13力月経過～				
令和11年度	貸与期間の 2 倍の期間	返還 年額	138,000	返還総額 828,000
令和12年度			138,000	
令和13年度			138,000	
令和14年度			138,000	
令和15年度			138,000	
令和16年度			138,000	

【松江市居住に伴う返還免除の制度について】

返還すべき年度（大学の例では令和12～23年度、高校の例では令和11～16年度）において、毎年4月に免除申請が必要です。

例えば、大学の例では令和11年度（高校の例では令和10年度）に松江市に居住し続けた場合、令和12年4月（高校の例では令和11年4月）に免除申請をすることで申請年度の返還額が半額となります（大学：188,000円⇒94,000円、高校：138,000円⇒69,000円）。

◆返還免除の対象外になる場合もありますので、詳細条件は「ふるさと奨学金の概要」の返還免除欄でご確認ください。

様式第 1 号（第 2 条関係）

奨 学 生 願 書

学校卒業後松江市に居住したいと考えていますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として採用されるよう、関係書類を添え申請します。

令和 年 月 日

（あて先）松江市長

本	人	住 所	
		氏 名	㊞
		電 話	
連帯保証人		住 所	
		勤務先	
		氏 名	㊞
		電 話	
連帯保証人		住 所	
		勤務先	
		氏 名	㊞
		電 話	

奨学金を必要とする理由をお書きください

松江市への定住に向けた思いをお書きください

【関係書類】

- 1 家計調書
- 2 奨学生推薦調書
- 3 在学証明書
- 4 本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票
- 5 所得状況等の調査に関する同意書

記入例

様式第1号（第2条関係）

奨学生願書

学校卒業後松江市に居住したいと考えていますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として採用されるよう、関係書類を添え申請します。

提出年月日を記入する。

令和 年 月 日

（あて先）松江市長

※ 必ず全ての項目を記入すること。

・ 住所は住民票と関係なく現在住んでいる場所の住所を記入する。

・ 連帯保証人のうち1名は保護者、1名は別生計の独立生計を営む成年者とする。

・ 連帯保証人2名のうち1名は市内に住所を有すること。

本人住所

氏名

㊞

電話

連帯保証人住所

勤務先

氏名

㊞

電話

連帯保証人住所

勤務先

氏名

㊞

電話

奨学金を必要とする理由をお書きください

奨学金を必要とする理由を具体的に記入してください。

松江市への定住に向けた思いをお書きください

あなたの思いを自由にお書きください。

【関係書類】

- 1 家計調書
- 2 奨学生推薦調書
- 3 在学証明書
- 4 本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票
- 5 所得状況等の調査に関する同意書

家 計 調 書

本人 (印)

保護者 (印)

記入例

様式第2号(第2条関係)

家 計 調 査 書

フリガナ	マツエ タロウ	申請者の在学状況	国公立 学校名 私立 松江高等学校 学部・学科名 普通科 (3年制) ☒ 3年に在学中(通学方法 ☒ 自宅・ ☐ 自宅外) ☐ 年 月卒業後、 ☐ 無職・ ☐ 就職・ ☐ 予備校生			
申請者氏名	松江 太郎					
生年月日	昭和 平成	19年12月12日	男・女			
申請者住所 (住民票上の住所)	①(〒 690 - 8540) 電話番号 自宅(0852) 55 - 5555 松江市末次町86番地 【本人】の携帯(090) 1234 - 5678 ※現住所が住民票上の住所と異なる場合、その住所を記入してください ②(〒 -) ☒ 上記①の住所と同じ ☐ 上記②の住所と同じ (善類等送付先) (〒 -) 日中連絡の取れる電話番号 自宅() 578 【母】の携帯(080) 1234					
世帯状況	生計同一者全員の所得金額(令和6年中)を記入する。 ※源泉徴収票などから所得金額を転記(給与所得控除後額) 在学状況(学生の場合)					
父	マツエ キョウタ 松江 教太	明・大・昭・平・令 49年 3月 3日	3,456,789 円	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】 年 自宅 自宅外	
母	マツエ イクミ 松江 育美	明・大・昭・平・令 51年 5月 5日	1,234,567 円	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】 年 自宅 自宅外	
姉	マツエ ショウコ 松江 奨子	明・大・昭・平・令 16年 7月 7日	円	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】 3年 自宅 自宅外	
弟	マツエ マナブ 松江 学	明・大・昭・平・令 23年 9月 9日	円	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】 2年 自宅 自宅外	
		明・大・昭・平・令 年 月 日	円	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】 年 自宅 自宅外	
特別事情	ひとり親 または養育者世帯 ☐	障がいのある人 のいる世帯 ☐ (人)	長期療養者(6か月 以上)のいる世帯 ☐	単身赴任世帯 ☒	災害を受けた世帯 ☐	
奨学金貸付けを 希望する学校	☒ 現在在学の学校(入学年月 令和5 年 4 月) ☐ 次の学校に進学予定 国公立 学校名 私立 学部・学科名 (年制)					
上記の家計状況に相違ありません。 令和 7 年 4 月 30 日 本人 松江 太郎 印 保護者 松江 教太 印						

令和7年度の在学状況について記入

日中連絡の取れる電話番号を記入する。

世帯員に生徒・学生がいる場合は在学状況を記入する。

連絡先住所は、上記①、②の住所とも異なる場合は記入する。

該当があれば口に✓を入れる。
※「ひとり親または養育者世帯」以外に該当する場合は、別途提出書類が必要です。(必要書類は裏面参照)

○特別事情に係る提出書類について

- (1) 令和7年1月1日現在の状況で、特別事情のある世帯に該当する場合は、該当世帯の□に
✓をつけてください。
- (2) ✓をつけた場合は、必ず証明書類を添付してください。
※ただし、ひとり親世帯又は養育者世帯の場合は、住民票で確認できますので別の証明書類は不要です。
- (3) 障がいのある人のいる世帯は人数も記入してください。

項 目	提出する証明書類
「障がいのある人のいる世帯」	①身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の写し（人数分）
「長期療養者（6か月以上）のいる世帯」 ※申請時に6か月以上継続して療養中の人又は療養を必要とする人がいる世帯	①令和6年1月から令和6年12月までの治療若しくは療養にかかった経常的費用の領収書の写し又はその費用の証明書（医療給付を受ける金額を除く。）
「単身赴任世帯」 ※主たる家計支持者が、現在単身赴任している世帯	①単身赴任していることが確認できる書類及び別居のため特別に支出している経費がわかるもの（健康保険証の写し、家賃の証明書の写し、光熱水費の領収書の写し等）
「災害を受けた世帯」 ※令和6年1月から令和6年12月までに受けた火災・風水害などの被害が対象	①罹（り）災証明書の写し ②それまでの家屋に居住できない場合の賃貸費等の領収書の写しや、災害により被害のあった家財で、新たに購入を行った場合の領収書の写し（ただし、生活に必要な限度を超えるものは含まない。） ※保険、損害賠償等によって補てんされた場合は除きます。

奨 学 生 推 薦 調 書

奨学生氏名 _____

1 出欠状況

学年 \ 日数	授業日数	出席日数	欠席日数	備考
第1学年				
第2学年				
第3学年				

2 所見

人物評価	
勉学意欲	
その他参考事項	

人物が良好であって、勉学意欲があり、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

令和 年 月 日

(あて先) 松江市長

学校長(氏名)



- 1 新入学生にあつては出身学校長が、在學生にあつては在學校長が記入する。
- 2 人物評価及び勉学意欲については、なるべく詳細に記入する。
- 3 その他参考事項は、在學中に取得した資格等について記入する。

記入例

様式第3号(第2条関係)

(高等学校・高等専門学校・専修学校用)

獎 學 生 推 薦 調 書

獎學生氏名

第1学年は、出身学校で作成する。
その他の学年は、在 schools で作成する。

様式第3号は、令和7年度に在学予定の学校が「高等学校・高等専門学校(高専)・専修学校」の時に使用します。

1 出欠状況

学年 \ 日数	授業日数	出席日数	欠席日数	備考
第1学年	180	180	0	
第2学年	180	175	5	5日中○日は□□ よる出席停止
第3学年	授業日数＝出席日数＋欠席日数となるように記入する。 授業日数のほか、授業時数での記入も可とする。			

欠席日数（時数）のうち、流行性感冒など特に配慮すべきものはその理由と日数（時数）を記入する。

2 所見

人物評価	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。
勉強意欲	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○。単位取得状況：●●／●●単位
その他 参考事項	○○（勉強に対する姿勢の記入のほか、各学校において卒業までに取得する全単位数のうち、令和6年度末までに取得済の合計取得単位数についても、併せて記入する（合計取得単位数/全単位数）。例：60/90単位） ○○（ ）

人物が良好であり、
さと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

令和 年 月 日

(あて先) 松江市長

第1学年は出身校で、その他の学年は在-school で作成する。

例：高校1年生⇒出身中学校で作成
高校2年生⇒在学高校で作成

学校長(氏名)



- 1 新入学生にあっては出身学校長が、在学期間中は在学期間長が記入する。
2 人物評価及び勉学意欲については、なるべく詳細に記入する。
3 その他参考事項は、在学期間に取得した資格等について記入する。

奨 学 生 推 薦 調 書																
（ ） 高 等 学 校 成 績 （ 年 月 卒 業 ・ 卒 業 見 込 み ）																
教科 学年 評定		第 1 学 年					第 2 学 年					第 3 学 年				
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
国 語																
地理歴史																
公 民																
数 学																
理 科																
保健体育																
芸 術																
外 国 語																
家 庭																
情 報																
専門学科																
評 定 別 科 目 数																
高等学校 評定 平均 値	評定 科目数 評定値 $5 \times () = ()$ $4 \times () = ()$ $3 \times () = ()$ $2 \times () = ()$ $1 \times () = ()$ 合計A () B () $\left. \begin{array}{l} \\ \\ \\ \\ \end{array} \right\} \frac{B}{A} =$ 評定平均値															
推薦する者の氏名 ※男・女																

（注意）

- 1 高等学校成績は各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
- 2 卒業見込みの者の評定は記入日時点までのものとする。
- 3 学校指定書式の添付に代えて記入を省略して提出してもよい。ただし、その場合も2枚目の最後欄の日付、高等学校長氏名を記入し、職印を押印すること。

特別活動の記録	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動
	(所見)	(所見)	(所見)
指導上参考となる諸事項	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
	(学習所見)	(学習所見)	(学習所見)
	(行動の記録)	(行動の記録)	(行動の記録)
	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)
	(部活動ボランティア活動等)	(部活動ボランティア活動等)	(部活動ボランティア活動等)
	(進路等)	(進路等)	(進路等)
上記の者は、人物、学業ともに優良であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。 年 月 日 (あて先)松江市長 高等学校長(氏名) 職 印			

記入例

様式第4号(第2条関係)

学年に関わらず出身学校(高校・高専)で作成する。

様式第4号は、令和7年度の在学が「大学(短大)」の時に使用します。

卒業に○囲み。(学用) 1枚目

学 生 推 薦 調 書

() 高等学校成績 (令和 7 年 3 月 卒業 ・ 卒業見込み)																	
教科		学年	第 1 学 年					第 2 学 年					第 3 学 年				
		評定	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
国 語				2					2					1	1		
地理歴史									1	1					1		
公 民				1					1						1		
数 学			1	1					2						2		
理 科				1				1							1		
保健体育					1				1					1			
芸 術				1					1								
外 国 語			1	1					2						2		
家 庭				1													
情 報				1													
専門学科																	
評 定 別 科 目 数			2	9	1			1	10	1				2	8		

各教科の成績を5段階で評価し、評定欄に該当の教科数を記入する。

高等学校評定平均値

$$\begin{array}{l}
 \text{評定} \quad \text{科目数} \quad \text{評定値} \\
 5 \times (5) = (25) \\
 4 \times (27) = (108) \\
 3 \times (2) = (6) \\
 2 \times () = () \\
 1 \times () = () \\
 \hline
 \text{合計} A(34) \quad B(139)
 \end{array}
 \quad \left. \begin{array}{l} B \\ A \end{array} \right\} =$$

評定平均値

4.1

小数点第1位未満四捨五入。

推薦する者の氏名

推薦する者(出願者)の氏名を記入する。 ※男・女

(注意)

- 1 高等学校成績は各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
- 2 卒業見込みの者の評定は記入日時点までのものとする。
- 3 学校指定書式の添付に代えて記入を省略して提出してもよい。ただし、その場合も2枚目の最後欄の日付、高等学校長氏名を記入し、職印を押印すること。

記入例

(大学用) 2枚目

特別活動の記録	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動
	(所見)	(所見)	(所見)
指導上参考となる諸事項	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
	(学習所見)	(学習所見)	(学習所見)
	(行動の記録)	(行動の記録)	(行動の記録)
	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)
	(部活動ボランティア活動等)	(部活動ボランティア活動等)	(部活動ボランティア活動等)
	(進路等)	(進路等)	(進路等)

上記の者は、人物、学業ともに優良であつて、学業の志が困難であり、また、松江市ふるさと奨学金奨学生として適当と認め、推薦します。

令和 年 月 日

(あて先) 松江市長

高等学校長(氏名)

職 印

様式第5号（第2条関係）

所得状況等の調査に関する同意書

令和 年 月 日

（あて先）松江市長

本人住所

本人氏名 ⑩

電話番号

保護者住所

保護者氏名 ⑩

電話番号

私は、松江市ふるさと奨学金の申請を行うにあたり、松江市で私及び同一世帯の者の所得状況、その他申請内容の確認を行うために必要な調査を行うことに同意します。